



SEISHIN  
CONCEPT BOOK



株式会社 誠心 代表取締役  
吉松 泰子

さまざまな人が、お互いの違いを「個性」として受け止め合い、互いを認め合いながら暮らしていったならそれぞれの人生はどれだけ豊かになることでしょうか。高齢者の方々が、最後まで社会の一員として自立して生きていける環境があったなら、どんなに素晴らしいことでしょうか。

「我が人生悔いなし」

人生の最終章に大輪の華を咲かせ幕をおろしてあげたい。

私達は、そこに“情熱”を捧げる。

株式会社誠心の理念はここに 있습니다。

START

はじまる



介護付有料老人ホーム  
**ACLASS**  
アクラス五条

### あなたらしく我がまに。

20年以上にわたって看護師として大勢の方と接してきた誠心代表の吉松泰子。看護・介護に従事する中で、常にある疑問を抱いてきました。医療の優先が、患者、入居者の“人間性”を押しつぶしていないか？自分の理想の介護を実現させるために平成17年9月に開設したのが“アクラス五条”です。アクラス。その名前に「Aクラス(上級・上質)」と「暮らす」というふたつの意味を込めました。アクラスの考える上質とは、カタチだ

けの高級感だけではありません。それは、ここで暮らすひとりひとりが今まで築いてきた暮らしのスタイルを変えることなく、自由に暮らしていくこと。たとえ介護が必要になっても、あるがままに「我がまに」。ここにはAクラスの暮らしがあります。



## *Plein D'Amour*

ブランダムール

### 人のぬくもりを感じながら暮らす。

高齢者を取り巻く環境。残念ながら希望が見えなくなっていますか。在宅の療養を余儀なくされても、引き受ける病院や施設がなかったり、自宅に帰れても看病してくれる家族がいなかったりと、行く場所もない「医療難民」が増えています。そんな人たちの力になりたいとの思いで、医療ニーズの高い方たちを在宅で看護するメデイション（看護付き在宅医療）を設立しました。入居者にはプライドの持てる暮らしを送って欲しかった。そこで一念発起し観世音寺でもひとときわ目立つ7SLDK

の邸宅を購入しました。平成19年7月から平成23年11月まで今の誠心本社の建物に在宅ホスピス“ブランダムール”がありました。開設当初は、一般住宅での介護行為が、さまざまな方面から指摘を受けました。＜介護居室は個室で13㎡以上＞という有料老人ホームの設備基準をクリアしていないなど。ブランダムールを開設したことで多くのことを学ぶことができました。確かなことは、ここに入居される方が、あきらかに回復していくということ。

## CHALLENGE

挑戦する



COLLECTIVE HOUSE  
ACCLASS TOWN  
コレクティブハウス アクラスタウン

### 住人十色

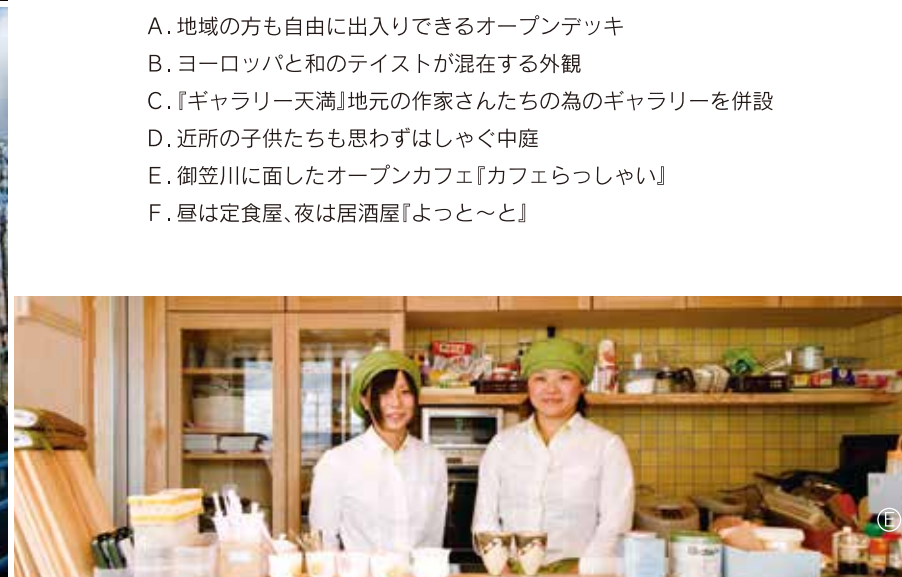
さまざまな人が、お互いの違いを「個性」として受けとめ合い、互いを認め合いながら暮らしていけたなら、それぞれの人生はどれだけ豊かになることでしょう。特に高齢者の方々が、最後まで社会の一員として自立していける環境があったなら、どんなに素晴らしいことでしょう。

その理想を、現実にするために生まれたのが、コレクティブハウス「アクラスタウン」です。それは、要介護の方、学生、ファミ

リー、企業勤めの社会人など、あらゆる世代が互いに自立しながらも助け合って暮らす、まったく新しいかたちの集合住宅。

住人の方、一人ひとりが人間らしく、それぞれの自分らしさを活かしながら自立して生きて行くための環境がここにあります。

あらゆる世代が、互いに自立しながらも助け合って暮らす。それは、老人ホームの新しいかたち。



- A. 地域の方も自由に入出りできるオープンデッキ
- B. ヨーロッパと和のテイストが混在する外観
- C. 『ギャラリー天満』地元の作家さんたちの為のギャラリーを併設
- D. 近所の子供たちも思わずはしゃぐ中庭
- E. 御笠川に面したオープンカフェ『カフェらっしゃい』
- F. 昼は定食屋、夜は居酒屋『よっと〜と』

- G. 木をふんだんに使った温かみのある建物の共有スペースと木の机
- H. 木そのものの息吹を感じる立派な梁
- I. 建物の中心にある吹き抜け。どこにいても人の存在を感じることができる

- J. 帰ってきて誰しもほっとする夜の玄関
- K. 建物からは暖かな灯りと笑い声が折り重なりあってあふれ出る
- L. 近所の方も通り抜ける小道



# 人は最後まで誇らしく暮らしていける

アクラスタウンは、外観、内装ともに天然の無垢材をはじめ、自然素材をふんだんに使用した快適な住空間が特長の集合住宅です。例えるならば高級旅館、高級ペンションのような心癒される雰囲気にあります。“人が集い、心が集う住まいへ”という理想を掲げ、入居者の立場に立った集合住宅作りをめざし建物の造りにこだわったわけですが、入居者の皆さんの反応は私の予想を上回るも

のでした。“建物の造りが人の心をこんなにも一変させるのか”。そんな新たな発見があったのです。例えばある一人の認知症の方の話なのですが、この環境の中で暮らし始めてから様子が大きく変わってきました。その方は、この建物に対して大きな誇りを持つようになったと言います。その誇りと言うものが、“自分は歳をとってもうダメなんだな”と言うやるせない思いを吹き飛ばしてしまったの

です。行動も顔つきもシャキツとして、これまでとまったく違う姿がそこにありました。人間性の回復、そんな力がアクラスタウンの建て方、造り方の中にあるんだなあと気づき改めて驚いています。

そして、これからはコレクティブハウスのコンセプトである“多世代が集う暮らし”の実現に向けて動き始めていきます。私は、高齢者の方が“自分は老人ホームに入れら



“建物の造りが人の心をこんなにも一変させるのか”という新たな発見があったんですよ。

れた”と思わない、ワクワク感のある生活環境をつくるためには、若者の力が必要だと思っていました。しかし、実際にオープンして感じたのは、“今のままでも入居者の方たちは、自分たちで社会を作ってイキイキと暮らしているじゃないか！”ということなのです。すでに豊かなコミュニケーションができています。入居者の皆さんに、まるでご近所づきあいのような心豊かな社会生活をここで送ってほしい、そんなオープン前に描いていた私の理想通りになっているのです。このことが大きな驚きでした。そして、最初に掲げた理想である多世代が集い支えあう環境が実現できたなら、もっともっと、素敵な社会ができていくのだろうかという期待で一杯です。

国や地方自治体の皆さんは“高齢者が自分らしくイキイキと暮らせるような社会環境づくり”というメッセージを常に発信しています。でも、そのような社会はいったいど

こにあるのか、見た人はいるのか、そう思うのです。アクラスタウンでは、すでに入居者の皆さんが自分らしく暮らしています。私は、その姿を、人は最後まで誇らしく暮らせるということを、さまざまな垣根を越えて広く世の中に発信し、高齢者の皆さんが豊かな暮らしを送ることができる場づくりを広めていきたいと考えています。

株式会社 誠心 代表取締役

古松泰子

# スタッフとともに過ごす豊かな人生

介護職は、日常の介護を提供するだけの職業ではありません。

“生きるとは”“死とは”“人生とは”ということに正面から立ち向かい、その人の人生に豊かに関わることが私たちの仕事であると考えています。



## 人間らしい心の優しさを 決して忘れない

誠心では、スタッフを採用する時は「入居者の人間らしさを大切に思い、それを表現できる人」であるかどうかを基準に選考しています。相手の短所も長所も個性として認めることができる心のバリアフリーを大切にする人、一人の人間として寄り添うことのできる人…。そんな厳選されたスタッフ一人ひとりが、ホテルのコンシェルジュのような真心のこもったきめ細やかなサービスを提供いたします。職務に誇りとプロ意識を持ち、人間らしい心の優しさを決して忘れない誠心のスタッフ。誇りを持って働く人とふれあいながら、介護される人も誇り高い日々を送る。私たちは、入居者一人ひとりが最後まで人間らしく自立して生きて行くための介護や看護を提供していきます。

STAFF



# 短所は持つといていい、それが個性だから。

明るい人たちの集まりだから、職場も自然と明るくなる。自分の仕事にやる気、誇りをもつことで個性に磨きがかかる。

毎朝行われるカンファレンス。時には、厳しいことも言われます。私達、職員の暮らしは、入居者によって支えられていることを忘れずに。



## 株式会社誠心 組織図

株式会社誠心  
本社  
事務長1名／事務員2名

介護付有料老人ホーム アクラス五条  
看護師1名／介護職員25名

デイサービス アクラスサロン  
看護師1名／介護職員8名

住宅型有料老人ホーム アクラスタウン  
社会福祉士1名／料理長1名／介護職員3名

アクラス訪問看護ステーション  
看護師9名

訪問介護ステーション ウイング  
介護職員10名

居宅介護支援事業所 アクラスケアプランセンター  
介護支援指導員2名

# 活動報告

今までは、高齢者の方が希望の持てる暮らしを送れる施設を作ることが目標でした。これからは、高齢者の方が豊かな暮らしをたくさんの施設で送れるようになればと思うようになりました。

アクラスを知って頂いた方々からたくさんの講演依頼をいただき、今では数々の講演会&セミナーを開催するようになりました。



## 吉松泰子 活動報告

- 平成19年7月21日 『価値観に添った看護・介護』講演 福岡県看護協会主催
- 平成19年11月14日 医療介護セミナー【第2回】  
『医療従事者に求められるもの ～医療・介護現場からの提言～』講演  
財団法人 医療・介護・教育研究財団主催
- 平成21年1月31日 『高齢期を自分らしく暮らす大切さ』講演 同志社大学2008年度再チャレンジ支援主催
- 平成21年11月7日 島根県特有連第2回介護実践研究発表会  
『人材』を考える上で大切なこと講演  
島根県特定施設・有料老人ホーム事業者連絡会・(社)全国特定施設事業者協議会共催
- 平成22年2月24日 『訪問看護事業の多機能化の現状と課題の検証に関する研究事業』発表会にて  
ブランダムールについて講演 全国訪問看護協会主催
- 平成22年6月30日 平成22年度全国特定施設事業者協議会第1回定例研究会  
「医療・特定施設事業との連携～特定施設の終末医療～」講演  
(社)全国特定施設事業者協議会主催
- 平成23年1月25日 九州ブロック第2回特定施設専門研修会  
「終末期ケアについて」  
大分県特定施設連絡協議会・(社)全国特定施設事業者協議会共催
- 平成23年4月～12月 「特定施設ケアマネジメントに関する研究会」委員  
(社)全国特定施設事業者協議会主催
- 平成23年6月 (社)全国特定施設事業者協議会理事就任
- 平成23年10月11日 特定施設専門研修(大阪)  
「特定施設における終末期ケア」  
(社)全国特定施設事業者協議会主催

※上記はほんの一例です。

# 伝わる思い。

講演会アンケートより

見取りのケースがまだ少ないため、スタッフの中でも「こわい」という意識がどうしても高いのですが、先生の話伝えることで、介護スタッフの意識を変えられるのではないかと思います。「見取りは特別なことではない」ということを伝えていきたい。

吉松先生の講義で、ターミナルについての考え方が変わりました。

看取り→見取りの意味も納得。職員は家族の代行をすればよい。人生最期に大輪の華を咲かせること、見取りの介護が私達の職業との吉松先生のお話に大感動。自分の仕事のすばらしさに再認識させていただきました。人生最終章のお手伝いをさせていただけて幸せです。また明日からがんばります。

介護する人間が人生観、死生観をしっかり持ち続けることが重要と考えました。

介護の世界に入って2年目の私ですが、ご利用者様と一緒に生活しながら「生きること」「死ぬこと」「人生とは」を毎日考えていました。でも、なかなか納得のいく答えが出ず…、でも今日の話聞き、とっても感動しました。明日から愛情いっぱいにご利用者と関わろう！と思いました。

現在、ターミナルケアを取り入れていないのですが、介護をするうえで心構え、考え方がとても勉強になりました。

共感する部分がたくさんありました。いかに家族、スタッフ、看護師が信頼できる関係をつくれるか、施設に戻って実践していきたいです。

これまで伺ったことのない終末期論だったと思います。ご家族との信頼関係を築くことがこの施設でも重要ではないでしょうか？当ホームに於いては、具合が悪くなられたら病院送りとなります。当然病院にて亡くられる方が多いです。

実際に施設をつくりあげられたお話を聞かせて頂けたと思います。忙しさによる何気ない職員の行動こそが、「人を死なせてしまっている」ということにショックを覚えました。今後は「人」としての介護を行える介護の仕事に胸を張っていけるようにしていきたいと思いました。

終末期ケアとは何なのか、役割について施設に持ち帰り、スタッフに伝えたいと思います。

先生の話がとても興味深く、また面白く聞くことができました。施設でのターミナル受け入れに際して、このような話をしていきたいと思いました。

現場に沿ったお話で良かった。

# メディア情報

アクラス五条をオープンして以来、数々のメディアで取り上げられました。



毎日新聞 2012年1月6日付



女性自身 2011年4月19日号／光文社発行



公衆衛生情報 2007年12月号／(財)日本公衆衛生協会発行



コミュニティケア 2010年12月号／(株)日本看護協会出版会発行



週刊ダイヤモンド  
2010年10月23日号／(株)ダイヤモンド社

TV放送でも取り上げられました。

平成21年11月22日(日) TV番組『ムーブ』第46回放送分  
「神様がくれた時間～吉松泰子 理想の介護をめざして～」出演  
○制作:RKB毎日放送 ○放送局:RKB/MBC/RBC/RKK/NBC/OBS/MRT

# 出版物紹介

誠心代表の吉松泰子が、看護・介護の現場で長年の間培ってきた“ノウハウ”。そして、そのベースになる“思い”を形にしました。



「高齢者ケアプラン策定指針」(厚生科学研究所発行) 及び「高齢者ケアプラン策定指針」要約版

## 現場で使える実践本

2,500円(税込)

吉松泰子 著 / 株式会社誠心 発行

『高齢者ケアプラン策定指針』に基づく看護・介護を実践すれば、高齢者がいきいきと生きることができる。その為の現場で使える本として『高齢者ケアプラン策定指針』と合わせてお役立てください。



## みとりびと。吉松泰子 施設における“見取り”の介護

3,500円(税込)

吉松泰子 著 / 株式会社誠心 発行

“看取り”と“見取り”? 誠心代表の吉松泰子が独自の理論で介護現場の問題点&解決策を読みやすくエッセイ風に語っています。



同封 DVD 「高齢者の思いを叶えたい 吉松泰子の挑戦」32分



### 沿革

- 平成17年9月 株式会社 誠心 設立
- 介護付有料老人ホームアクラス五条開設
- 平成19年4月 住宅型有料老人ホーム ブランドムール開設
- 平成23年11月 住宅型有料老人ホーム アクラスタウン開設

### 会社概要

- 名称 株式会社 誠心
- 代表取締役 吉松 泰子
- 所在地 〒818-0101 福岡県太宰府市観世音寺1丁目17-3
- 連絡先 TEL:092-921-7221 / FAX:092-921-7239
- URL <http://www.aclass5.jp/>



《アクセス》